

中ア・中御所谷

平成24年9月29日(土)

L 白土 悟
熊崎 直樹

記録 白土 久美子

熊崎さんに秦野まで来てもらい、一路信州駒ヶ根へ車を走らせる。思いのほか早く着き、駒ヶ根IC近くのコンビニに寄ってから菅の台バスターミナルの駐車場で仮眠。ICからすぐなので助かるなあ。

夜が明けると始発のバスに乗るための列が出来ていて、臨時バスがどんどん登山客を運んで行った。人が殺到するのは最初だけだろうと思い次のバスに並んだら、始発ほどの混雑ぶりではなく、2台目の臨時バスに乗車できた。しらび平のコインロッカーに泊まりの荷物を預け、ロープウェイ直下の遊歩道を登るとじきに沢へ着き、ここで沢靴を履く。早速「日暮(ひぐらし)ノ滝」だ。他の沢がそうであるように、今日も水は少なめ。あまり二人に迷惑かけずに遡行できればいいけど。水流右の凹角を夫がリードし、私はアッセンダーで登った。ぬるぬる、スタンスは斜めで早朝からパワーを使う羽目に。先が思いやられるなあ。続く8m滝は熊崎さんがリード。ぜいぜい言いながら秋山の空気を感じていると突然日陰になったので見上げたらロープウェイが真上を登って行った。紅葉が始まりかけた山並みと青空はとても美しく、それが励みになる。次の10m巨大CS滝は大変そうなので右のルンゼから巻き、懸垂で落ち口に降りた。



【10mCS】

釜付きの12m滝は熊崎さんリードで右から登った。ビレイしているとまたロープウェイが通った。この沢ならではの光景について見上げてしまう。



大岩が鎮座している5m滝を越えると少し開けた印象となる。草紅葉が始まってい

てやや草が黄色い。7mCS滝はロープを出して右から巻いた。崩れやすい岩質でやや緊張。その先は遡行図によるとナメがあるようだが右壁が崩壊したようで埋まっていた。右から20m滝のかかる枝沢が入り、その先も10m弱の滝があるみたいだけどここも下の方は埋まっていた。

この沢は滝が連続して一気に高度を上げるので飽きさせずに楽しい。埋まりかけの滝を越えるとすぐに6m、その奥にトイ状15m滝が見える。ここは左から巻きに入る。ネットの記録に「あまり上がると200m以上トラバースが必要」とあったので、少し上がってから見た目悪そうなブッシュだがトラバースすることにした。念のためロープを出して熊崎さんが先行。「大丈夫」というので行ってみると、草をかき分ければちゃんと足場があつて難しくなかった。

難なく沢床へ下りると目の前に右から2段50mの枝沢が入っていた。本流では細い3段10m滝が待ち構えている。このあたりになるとだいぶ標高が高く、振り返ると駒ヶ根の街を見下ろすことができた。ここは枝沢を利用して右から巻く。ここもネットの記録（2009年遡行）を片手にルートを見定めていると、あることに気づく。記録では枝沢を上がってからバンドをトラバースしているのにそのバンドがない。すっかり崩れてしまったようで、本流に転がっている大岩がこの残骸か!? あちこちでちょっとずつ崩壊しているなあ。そういうわけでバンドは使えないので、さらにその上まで上がってからブッシュの中をトラバースすることにして、熊崎さんが取りついた。枝沢の50m滝は水流左のクラックを登る。大岩の上に上がり、そこからブッシ

ユの中へトラバース。50mザイルいっぱい落ちて落ち口付近までたどり着いた。続いて夫が登り、最後に私。クラックが難しく、夫が垂らしたお助けスリングがなければだいぶ厳しかったと思う。3人が越えるのに1時間以上かかった。



【崩落したバンド跡】

2段10m滝を左から越えるとすぐ見事な15m滝が登場。隣に右から入るトイ状2段40m滝も並んでいる。



【15m滝・トイ状2段40m滝】

ここは左の枝沢から巻く。素直に巻くとだいぶ巻き上げられてしまいそうなので10mほど登ったところで右の階段状のブロックに逃げることにした。が、ここが結構難しい。3段だが1段1段が肩の高さくら

いあり、ホールドも乏しい。夫がリードし、フィックスしたロープを思い切り頼ったりしてようやく登りきった。あとはブッシュの中をトラバースして落ち口へ戻った。

12m滝を難なく越えると二俣。ここは右へ入る。



【左の水流は見えていないけど二俣】

一気に高度を上げてきただけにだんだんペースが落ち、最終のロープウェイ（17時）に間に合うか怪しくなってきたので、休憩もほどほどに先を急ぐ。多段80m滝はスラブ状の小滝の連続で、ツートンと滑りやすいところもあった。比較的登りやすいような滝の右端を地味に越えていく。



【鏡の滝】

上段の「鏡の滝」を越えると平凡な溪相になったが紅葉がきれい。振り返ると南アルプスの向こうに富士山が少しだけ顔を出

していた。三俣を左に入ると、ぱっと視界が開けてそこは千畳敷カールだった。詰め・藪漕ぎなし、それでいてこのロケーションは最高。日帰りで良いとこ取りの名渓といっぴいと思う。



【千畳敷カールへ到着♪】

ロープウェイ駅までの遊歩道脇には赤く染まったナナカマドがきれい。ロープウェイの下りのピークは過ぎていたので時間待ちせずですぐ乗れた。ハイカーでぎゅうぎゅうのロープウェイからはさっきまで立っていた沢がよく見える。「あそこはこうだったね」とか言いながら10分足らずでしらび平まで下ってしまった。片道1,180円、お金の払い甲斐があるというもの。コインロッカーに預けた荷物を出し、西横川へ移動。林道からすぐ沢沿いの踏み跡に入り、堰堤を2つ越えともうテン場。よく整地されていて、流木もたくさんあって快適。夫が作った一人1本の焼き芋がおいしく、至福の時を過ごせた。だいぶ疲れてしまったようで、ぐっすり眠れた。

6 : 40 しらび平ロープウェイ
7 : 00 入渓
16 : 00 千畳敷